

令和4年度 試験研究課題一覧

一連番号	区分(財源)	研究課題名	期間	研究概要	備考
1	県単	沿岸域の有用な磯根資源の増殖技術の開発	R2~R4	沿岸漁業者の所得の安定と向上を図るため、ナマコやアカモクなどの経済的な価値の高い有用な磯根資源の増殖について、静穏性の高い漁港や周辺海域の活用を含めた技術開発及び加工・流通について検討を行う。	浅海科 海洋資源科 利用化学科
2	県単	定置漁業の持続的発展支援プロジェクト	R3~R5	網の敷設場所を決定するために必要な海底地形や潮流の調査や魚類の回遊状況などの漁場調査の実施する。調査データを基に、網の規模、構造やアンカー量などの投資額の算定に必要な情報を収集する。	海洋資源科 浅海科
3	県単	沿岸自営漁業者の所得向上支援プロジェクト	R3~R5	高単価魚種であるケンサキイカ等を効率的に漁獲できる漁法(樽流し縦縄漁法)の開発や、漁獲物の付加価値を高める漁獲処理手法(イカの墨抜き)の開発を行い、沿岸自営漁業者の所得向上を図る。	浅海科 海洋資源科 利用化学科
4	県単	重要磯根資源(サザエ、アワビ)の資源管理適正化事業	R3~R5	沿岸自営漁業者にとって重要な資源であるものの、近年漁獲量が減少傾向であるサザエ、アワビについて、成熟度や肥満度、漁獲実態等の調査を行い、資源維持・回復に向けた資源管理方策の検討・提案を行う。	浅海科
5	県単	操業情報を活用した底びき網漁業資源管理プロジェクト	H31~R4	本県で開発した沖合底びき網漁業におけるアカムツ小型魚の分布予測システム(以下アカムツシステム)を他の重要魚種にも応用し、ICTを活用した主要底魚類の分布予測システムを構築する。さらに市場価格と連動させた最適な漁獲ルールを提案するとともに、小型魚の漁獲を低減させる漁具を開発し、底びき網漁業の適切な資源管理と経営の安定化を図る。	海洋資源科 浅海科
6	県単	沿岸域等の未利用資源を活用した加工技術の開発	R4~R6	沿岸域等に生息する魚類のうち未利用資源に着目し、その成分特性等を最大限引き出すことができる加工技術の開発と商品づくりを目指す。また、マーケットインの視点を重視した売れる商品づくりを目指す漁業者、水産加工業者等への支援に必要な調査研究を実施する。	利用化学科
7	県単	汽水域有用水産資源調査	R4~R6	汽水湖である宍道湖並びに神西湖の特産品であるヤマトシジミや、宍道湖・中海で漁獲される有用魚類などの資源動向や生息環境のデータを収集し、漁業者による資源の維持管理と増殖手法の検討を行うための情報を提供する。	内水面科 浅海科
8	県単	アユ資源回復手法開発事業	R4~R6	県内アユ資源の回復・安定化を図るため、種苗生産した地場産アユ種苗や養成親魚を活用した積極的な資源添加手法の開発を行う。	内水面科 海洋資源科
9	県単	藻場分布状況モニタリング調査	R4~R6	県内の藻場の分布状況の把握及びその減少要因の究明のためのモニタリング調査を継続実施し、併せて、藻場モニタリング調査の高度化や省力化が図られるAI技術を用いたモニタリング手法の開発を目指し、効果的な藻場増殖対策の推進を図る	浅海科
10	県単	沿岸有用水産生物の増養殖技術開発	R4~R6	沿岸自営漁業者の所得向上を図るためのイワガキの養殖技術開発やワカメの生産の効率化・安定性を高めるための増養殖の技術開発を行う。	浅海科
11	県単	島根原子力発電所の温排水に関する調査	S42~	島根原子力発電所から放水される温排水による、海洋環境および海洋生物への影響を調査する。	浅海科
12	受託(国庫)	マアジ資源新規加入量調査	H14~	日本海南海域において中層トロール網によりマアジ稚魚の分布量調査を実施し、日本海へのマアジ当歳魚加入量の推定を行う。	海洋資源科
13	受託(国庫)	主要浮魚類の資源評価と漁況予測に関する研究	H13~	本県の主要浮魚類について漁獲統計調査、市場調査、試験船調査により資源状態を把握し、主要浮魚資源について漁況予測を行う。	海洋資源科
14	受託(国庫)	主要底魚類の資源評価に関する研究	H13~	本県の主要な底魚類の資源状況を漁獲統計調査、市場調査、試験船調査により把握し、資源の適切な保全と合理的・持続的利用を図るための提言を行う。	海洋資源科
15	受託(国庫)	重要カレイ類の資源評価と管理技術に関する研究	H13~	本県の底びき網漁業の重要な漁獲対象資源であるムシガレイ、ソウハチ、アカガレイの資源回復を目的として、これらを漁獲対象とする漁業の管理指針作成のための基礎資料を得る。	海洋資源科

令和4年度 試験研究課題一覧

一連 番号	区分 (財源)	研究課題名	期間	研究概要	備考
16	受託 (国庫)	島根県における主要水産資源に関する資源管理調査	H23～	島根県における主要水産資源の合理的・持続的利用を図るため、県内における漁業種類別・魚種別の漁獲動向を把握し、資源管理手法開発の基礎資料とする。	海洋資源科
17	受託 (国庫)	日本海周辺クロマグロ調査 (国際漁業資源評価調査・情報提供委託事業)	H24～	漁獲統計の整理と生物測定を実施し、日本海周辺海域に分布するクロマグロの資源評価を行う。	海洋資源科
18	受託 (国庫)	フロンティア漁場整備生物環境調査(日本海西部地区漁場整備環境生物等調査業務委託)	H20～	ズワイガニ・アカガレイを対象にした魚礁設置のための事前生物調査等を、隠岐周辺海域等でトロール網等により行う。	海洋資源科
19	受託 (国庫)	日本海における大規模外洋性赤潮の被害防止対策事業	H20～	山陰沿岸に來遊し、サザエやアワビ等に被害を与える外洋性有害赤潮に対応するため、発生状況や海洋環境について、モニタリング調査を行う。さらに、衛星画像解析等により発生機構を解明するとともに、赤潮輸送シミュレーションによる発生予察技術を開発する。	海洋資源科
20	受託 (その他)	マウンド礁調査 (隠岐海峡地区マウンド礁整備効果調査業務に係る環境調査業務)	H31～	フロンティア漁場整備事業(隠岐海峡地区)において、マイワシ・マサバ・マアジを対象として整備したマウンド礁等での環境生物等の調査を実施し、マウンド礁の蛸集、増殖効果を把握するための各種情報の取得を行う。	海洋資源科
21	受託 (国庫)	環境収容力推定手法開発事業	R2～	アユ種苗放流の資源添加効率の向上を図るため、放流試験によりアユ種苗の放流から解禁までの時期、放流サイズ当のパラメーターについて検討を行う。また、天然遡上アユ現象要因の把握と、天然遡上量回復のためのふ化放流試験を実施する。	内水面科
22	受託 (その他)	大型クラゲ出現調査及び情報提供事業 (有害生物出現情報収集・解析及び情報提供委託事業)	H27～	日本沿岸に大量に來遊すると大きな漁業被害を与える大型クラゲについて、その出現状況を調査する。調査結果は、漁業関係者に迅速に情報提供を行い、漁業被害の低減を図る。	海洋資源科
23	受託 (その他)	漁船活用型資源情報収集等支援事業	H23～	漁業情報サービスセンターの日本海周辺漁海況情報に利用するデータ(対象魚種に関する魚体組成並びに操業又は水揚げ状況)を調査整理する。	海洋資源科
24	受託 (その他)	脂質測定器用検量線作成委託事業	R2～	オプトメカトロ社および島根県が共同開発した脂質測定器用の検量線を作成する。	利用化学科
25	国補 (交付金)	魚介類安全対策事業(貝毒)	H5～	貝毒被害を未然に防止するため、貝毒プランクトンの発生に関するモニタリング調査を県内4カ所で行う。なお公定法による麻痺性・下痢性貝毒検査は(公財)島根県環境保健公社で実施する。	浅海科 利用化学科
26	国補 (交付金)	魚病および養殖技術の普及指導	H14～	水産物の疾病診断、防疫指導を通して、魚病を予防し、その被害の軽減を図る。飼育担当者の防疫技術の向上を図り魚介類の養殖及び増殖を推進する。	内水面科 浅海科 利用化学科
27	競争的 資金 (その他)	環境DNAを用いた内水面漁業資源量の解明と増殖策の創生事業	H30～	環境DNAを用いて、アユ、溪流魚等の資源量モニタリングを行い、各種水産物の好適生息環境を把握し、さらに流れ、河床変動及び水温のシミュレーションモデルを用いて、各種資源量を左右する環境条件を解明する。	内水面科